



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月4日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東
コード番号 7611 URL <https://www.hiday.co.jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青野 敬成
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 石田 淳 TEL 048-644-8030
半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 2024年11月6日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	26,881	13.0	2,780	15.7	2,824	10.5	1,887	9.1
2024年2月期中間期	23,796	35.2	2,402	—	2,555	56.1	1,730	67.5

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	49.72	—
2024年2月期中間期	45.57	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	34,470	26,324	76.4
2024年2月期	33,264	25,113	75.5

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 26,324百万円 2024年2月期 25,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2025年2月期	—	18.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	18.00	36.00

(注) 2024年2月期中間期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 創業50周年記念配当5円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	6.6	5,200	12.1	5,200	9.3	3,500	8.2	92.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年2月期中間期	38,147,116株	2024年2月期	38,147,116株
2025年2月期中間期	174,142株	2024年2月期	173,854株
2025年2月期中間期	37,973,135株	2024年2月期中間期	37,974,645株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

2024年10月21日（月）16時より機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。説明資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	7
中間会計期間	7
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間貸借対照表に関する注記)	8
(中間損益計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. 補足情報	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、堅調な企業業績、雇用・所得環境の改善など、緩やかに回復してきました。一方で、為替相場の円安、原材料価格の高騰、物価上昇に伴う節約志向、消費マインドの冷え込み懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

外食産業におきましては、人流の活発化、インバウンド需要の増加により売上高を伸ばしています。一方で、経営環境は厳しく、食材価格の高騰、人手不足とそれに伴う人件費関連コストの上昇基調は続いています。

このような環境の中ではありますが、当社は「美味しい料理を真心込めて提供します」を経営理念とし、「お客様に美味しい料理を低価格で提供し、ハッピーな一日(ハイデイ)を過ごしていただく」、このことを基本姿勢とし、より多くのお客様に美味しい料理を提供させていただくことに注力いたしました。引き続き、首都圏600店舗体制に向けて安定的な新規出店、サービス水準のさらなる向上、新商品の投入、積極的な販売施策などを推進し、業容拡大を図ってまいります。

当中間会計期間における主な取り組みについて、2026年2月期を中間目標とする5か年計画「Hiday500 ローリングプラン2024」を達成するための7つの重点施策、①店舗戦略、②海外マーケット進出、アライアンス・M&A、③採用の強化・人財育成、④DX推進戦略、⑤事業拡大・新商品開発・販路戦略、⑥ブランディングの強化、⑦サステナビリティの取組推進に基づいて説明いたします。

〈中期経営計画「Hiday500 ローリングプラン2024」の重点施策〉

①店舗戦略

新規出店を進めるとともに利益の確保が困難な不採算店を退店して、スクラップアンドビルドを推進することで収益率の向上を図っております。

新規出店6店舗(東京都3店舗、埼玉県2店舗、栃木県1店舗)、退店3店舗、FC移行1店舗となりましたので、8月末の直営店舗数は451店舗となりました。新規出店した6店舗のうち、ロードサイドが2店舗を占めています。新商圏の栃木県宇都宮市に出店したロードサイド店「日高屋宇都宮上大曾店」は開店後1か月間のご来店客数が2万人を上回る大きな支持を集めたことで、店舗が少ない北関東エリアでの新規出店に向けた手ごたえを得ています。

②海外マーケット進出、アライアンス・M&A

海外マーケット進出では、ベトナム・ホーチミン市への出店に向けて、現地情報の収集・調査など本格的に準備を進めています。また、オーガニックな成長だけでなく、アライアンスやM&Aによる企業価値の向上を検討します。

③採用の強化・人財育成

採用面では、新卒・中途・特定技能外国人のリクルート活動を意欲的に継続し、それぞれの分野で好結果を生みだしております。新卒採用では、9月に解禁される2025年春卒業の高校生就職選考に向けた職場見学会の申込者数が過去最高になりました。中途採用については、8月末時点で53人となり、過去最高となった2024年2月期を上回るペースで推移しております。特定技能外国人の採用も順調です。

人財育成面については、多様な教育機会を設けて取り組みを強化しています。お客様よりいただいた改善提案・課題を解決するための勉強会、新任店舗責任者を対象とした初期研修を実施して店舗マネジメント力を強化しました。店長研修では自発的に事例共有・情報交換するなど、店長の改善意識が高まっています。8月より衛生クレンジング、収益をテーマとした研修委員会を設立し、従来の接客向上委員会と併せて研修機会を拡充しています。

④DX推進戦略

4月に新POS切り替えを全店舗で完了したことで、キャッシュレス決済やポイント付与に係わる処理能力・スピードが改善したことから利便性が向上するとともに、店舗の業務効率化が図れました。8月には共通ポイントサービス「楽天ポイントカード」が新たに利用可能になり、新規のお客様のご利用が増えております。タッチパネル式オーダーシステムの導入・切り替えは8月末で271店舗と全体の60%まで拡充しています。配膳ロボットはロードサイド店を中心に39店舗40台が稼働中です。ともに今後も継続的に導入を進めてまいります。

⑤事業拡大・新商品開発・販路戦略

商品面では、今年も7月から9月まで生ビールを割引価格で提供するキャンペーン「生ビール祭」を実施しました。「生ビール祭」は夏のキャンペーンとして定着・ご好評いただいております。生ビールの注文数が前年を上回るとともにご来店客数増加にも寄与しました。8月には期間限定メニュー「肉そば」を提供して前年の販売実績を上回る推移となっております。

⑥ブランディングの強化

テレビCM、SNS、動画サイト、ホームページなど、多彩なコンテンツを活用して、新製品やお得なキャンペーンなどを継続的に紹介・発信、お客様に楽しい食事を想起していただけるよう活動しております。

店舗以外で「日高屋」ブランドを訴求する取り組みとして、「日高屋」監修の商品が発売されました。食品メー

カーからは「日高屋」の人気メニュー「チゲ味噌ラーメン」、「野菜たっぷりタンメン」、「中華そば」、「バクダン炒め」などをイメージしたカップ麺や生麺・冷凍のラーメンが発売されたほか、コンビニエンスストアのオリジナル商品として「日高屋」監修商品が発売されました。加えて、「日高屋」メニューを再現したカプセルトイの玩具も発売されました。

⑦サステナビリティの取組推進

環境面の計画として、2018年を基準年として2030年度には温室効果ガスの排出量（Scope 1、2）を30%削減する目標を掲げています。バリューチェーンで発生する排出量（Scope 3）算定も実施しました。また、ESGに関する外部評価であるCDP2024気候変動質問書に回答することで、ESG経営にもとづいた課題の抽出と施策の実施につながります。

上記施策の推進に加えて、ご来店客数が持続的に増加していること、コロナ禍で短縮した営業時間の延長に取り組んだことなどによって、7月の売上高は単月ベースで過去最高額を更新し、各月の売上高は18ヶ月連続で同月比過去最高額を記録して、当中間会計期間の売上高も過去最高額の268億81百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

生産、原価面につきましては、増収効果もありましたが、米、豚肉、ラード等の各種食材購入価格上昇によって、原価率は29.0%（前年同期は27.8%）となりました。

販売費及び一般管理費は、正社員のベースアップ、フレンド社員の増員・時給アップに伴う人件費の増加、物流費、水道光熱費等の各種コスト増加がありましたが、増収効果によって、対売上高比60.6%（前年同期は62.1%）に低減しました。

この結果、利益面では、営業利益27億80百万円（前年同期比15.7%増）、経常利益28億24百万円（前年同期比10.5%増）、中間純利益18億87百万円（前年同期比9.1%増）となり、いずれも中間会計期間として過去最高額となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末の総資産は344億70百万円となり、前期末に比べ12億5百万円増加しました。主な要因は、前期末に比べ流動資産の現金及び預金の増加6億83百万円、売掛金の増加3億35百万円等によるものです。

負債合計は81億46百万円となり前期末に比べ4百万円減少しました。これは主に買掛金の増加2億30百万円、その他の流動負債の減少3億11百万円等によるものです。

純資産合計は、263億24百万円となり前期末に比べ12億10百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加12億4百万円等によるものです。この結果、自己資本比率は76.4%（前期末75.5%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月12日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想から変更はございません。

店舗展開につきましては、出店余地の多い北関東エリアへの拡大を予定しており、新規出店は第3四半期期間中に6店舗の計画です。期間限定メニュー、既存メニューのブラッシュアップ、キャンペーンなどの販売促進策を実施するほか、人財採用の強化と研修制度の拡充、DX推進によるお客様の利便性向上と店舗省人化の両立などの各種施策に取り組むことでブランド力の維持・向上を目指してまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,814,833	15,498,332
売上預け金	137,903	167,492
売掛金	1,460,150	1,795,585
店舗食材	240,449	283,244
原材料及び貯蔵品	54,009	80,610
その他	516,677	490,341
流動資産合計	17,224,024	18,315,607
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,138,335	14,341,546
減価償却累計額	△7,663,974	△7,895,525
建物(純額)	6,474,360	6,446,020
構築物	133,476	133,680
減価償却累計額	△111,209	△112,721
構築物(純額)	22,267	20,958
機械及び装置	2,793,062	2,921,548
減価償却累計額	△2,341,641	△2,389,403
機械及び装置(純額)	451,420	532,144
車両運搬具	19,721	22,171
減価償却累計額	△17,531	△18,264
車両運搬具(純額)	2,189	3,906
工具、器具及び備品	3,042,144	3,179,332
減価償却累計額	△2,176,863	△2,262,465
工具、器具及び備品(純額)	865,280	916,867
土地	1,394,502	1,394,502
建設仮勘定	56,430	31,185
有形固定資産合計	9,266,450	9,345,584
無形固定資産	185,557	196,009
投資その他の資産		
投資有価証券	622,652	631,932
敷金及び保証金	4,336,112	4,338,949
その他	1,655,097	1,661,119
貸倒引当金	△25,249	△18,809
投資その他の資産合計	6,588,612	6,613,191
固定資産合計	16,040,620	16,154,785
資産合計	33,264,645	34,470,393

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,157,964	1,388,563
未払法人税等	1,064,117	1,087,227
賞与引当金	482,919	512,701
その他	3,598,149	3,287,120
流動負債合計	6,303,151	6,275,613
固定負債		
資産除去債務	1,565,101	1,576,399
その他	282,408	294,273
固定負債合計	1,847,509	1,870,672
負債合計	8,150,660	8,146,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,684	1,701,684
利益剰余金	21,917,282	23,121,794
自己株式	△175,533	△176,368
株主資本合計	25,068,797	26,272,473
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45,187	51,633
評価・換算差額等合計	45,187	51,633
純資産合計	25,113,984	26,324,107
負債純資産合計	33,264,645	34,470,393

(2) 中間損益計算書
(中間会計期間)

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	23,796,480	26,881,094
売上原価	6,610,602	7,799,543
売上総利益	17,185,877	19,081,551
販売費及び一般管理費	※ 14,783,293	※ 16,300,966
営業利益	2,402,584	2,780,584
営業外収益		
受取利息	53	835
受取配当金	1,920	3,027
受取賃貸料	2,890	3,638
雇用調整助成金	65,261	—
受取補償金	61,137	9,575
協賛金収入	3,300	22,117
受取保険金	—	10,360
その他	44,528	22,660
営業外収益合計	179,092	72,215
営業外費用		
固定資産除却損	23,260	21,782
その他	3,356	6,632
営業外費用合計	26,616	28,414
経常利益	2,555,060	2,824,385
特別利益		
固定資産受贈益	16,940	—
特別利益合計	16,940	—
特別損失		
減損損失	14,345	14,800
特別損失合計	14,345	14,800
税引前中間純利益	2,557,654	2,809,584
法人税等	827,116	921,720
中間純利益	1,730,538	1,887,864

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(中間損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
役員報酬	56,390千円	46,180千円
給与手当	7,077,051	7,915,654
賞与引当金繰入額	446,801	498,331
退職給付費用	62,484	64,260
賃借料	2,304,920	2,373,935
水道光熱費	1,209,464	1,287,063
減価償却費	511,133	641,403

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)及び当中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社は、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 補足情報

①業態別売上高

(単位：千円)

業態区分	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)			当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)			(参考) 2024年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
日高屋	410	22,399,286	94.1	421	25,504,546	94.9	418	46,000,052	94.3
焼鳥日高	26	1,054,767	4.4	25	1,088,748	4.1	26	2,122,974	4.4
その他業態等	7	342,426	1.4	5	287,800	1.0	5	649,197	1.3
計	443	23,796,480	100.0	451	26,881,094	100.0	449	48,772,224	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

3. 「日高屋」は、「中華食堂日高屋」「来来軒」「らーめん日高」を含めております。

4. 「焼鳥日高」は、「焼鳥日高」「大衆酒場日高」を含めております。

5. 「その他業態等」は、「中華一番」、「屋台料理 台南」、「大衆食堂日高」、FC向けの売上高等を含めております。

②地域別売上高

(単位：千円)

地域区分	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)			当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)			(参考) 2024年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
東京都	203	11,591,901	48.7	205	12,827,876	47.7	203	23,655,878	48.5
埼玉県	109	5,409,714	22.7	111	6,026,951	22.4	110	11,002,716	22.6
神奈川県	71	3,727,857	15.7	72	4,379,635	16.3	73	7,735,026	15.8
千葉県	53	2,724,376	11.4	54	3,167,325	11.8	55	5,653,020	11.6
茨城県	5	205,787	0.9	6	299,225	1.1	6	445,049	0.9
栃木県	1	68,769	0.3	2	103,258	0.4	1	140,871	0.3
群馬県	1	68,072	0.3	1	76,822	0.3	1	139,661	0.3
計	443	23,796,480	100.0	451	26,881,094	100.0	449	48,772,224	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

③開設店舗及び閉鎖店舗

〔開設店舗〕

1. 新橋日比谷口店
2. 本川越東口店
3. 武蔵小金井北口店
4. 宇都宮上大曾店
5. 越谷平方南町店
6. 小田急マルシェ
狛江店

〔閉鎖店舗〕

1. 焼鳥日高
王子北口店
2. 横須賀中央店
3. 常盤平南口店

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。また、吉川北口店は6月にFC店舗へ移行しております。